



報道機関 各位

記者発表資料

平成30年10月19日（金）

問い合わせ先：大宮盆栽美術館

副館長：栗澤

担 当：田口(文)・五味

電 話：780—2092

秋季特別展「シリーズ・現代の盆栽家Ⅱ 木村正彦—あそびの領分」
世界を代表する盆栽家 木村正彦氏本人によるプレスツアーを開催します

大宮盆栽美術館では、10月26日（金）から開催する秋季特別展に合わせ、木村正彦（きむらまさひこ）氏本人の出席のもと、下記のとおり、プレスツアーを開催します。

記

- 1 日 時 平成30年10月26日（金） 9時30分～10時30分
- 2 会 場 大宮盆栽美術館 ロビー・コレクションギャラリー
- 3 内 容 (1) 木村氏本人による作品紹介
(2) 木村氏本人への囲み取材
- 4 申込み 電子メール又はFAXにて、会社名、媒体名、氏名（ふりがな）、電話番号、出席人数を明記の上、10月25日（木）までに当館にお申し込みください。
大宮盆栽美術館 電 話：048—780—2092
FAX：048—668—2323
電子メール：bonsai-art-museum@city.saitama.lg.jp

木村正彦氏について（本展図録「作家ごあいさつ」より）

15歳から盆栽村の藤樹園に修行に入り、これまで盆栽とともに暮らしてきたなかで、植物の四季折々の姿や、それぞれの環境のなかに確かに生きる木々の姿を目の当たりにし、常に自然の偉大さに心を洗われてきました。今回の展覧会では、こうした自然への感動のままに、植物に携わる人間の楽しみとして、常々“あそび”と言って制作してきた創作盆栽を主に紹介いたします。こうした創作盆栽は、盆栽家として常に向上心を持って技術の習得と発展に努め、これまでにはない盆栽の可能性を求めた結果として生み出してきたものです。

盆栽の道に終わりはありません。向上心を失うことなく、“生涯現役”という気概を持ち、これからも一人の盆栽家として歩んでいきたいと思えます。この展覧会を機会に、盆栽の新たな可能性を探った、あそび心による作品を楽しんでいただければ幸いです。

作家紹介 木村正彦 氏 略歴

大宮市大砂土村（現さいたま市北区盆栽町）生まれ。

15歳で盆栽町の藤樹園・浜野元介氏に弟子入り。昭和48年（1973）、33歳で埼玉県北足立郡伊奈町に本拠を構え、主に同業者からの依頼に応じて盆栽の整枝・整形作業を手掛ける。昭和55年（1980）、40歳頃より本格的な改作・創作盆栽を手掛け始める。

盆栽技術のスペシャリストとして、「国風展」受賞樹を数多く手掛けるほか、プロ作家による「日本盆栽作風展」では内閣総理大臣賞をはじめ数多の賞を獲得。諸外国の盆栽展における実技講師は13か国28都市を超え、平成元年（1989）の世界盆栽大会（第1回、旧大宮市）、平成29年（2017）の第8回世界盆栽大会 in さいたまの双方でデモンストレーターを務めるなど、世界を代表する盆栽家として著名である。平成13年（2001）、文化功労者。翌年、厚生労働大臣表彰「卓越した技能者（現代の名工）」。平成18年（2006）、黄綬褒章受章。翌年、文化庁長官表彰。